

平成 27 年度(2015 年度) 第 1 回 吹田保育園民営化保護者説明会の概要

[日 時] 平成 27 年 9 月 25 日(金) 午後 6 時 45 分～午後 8 時 45 分

[場 所] 吹田保育園 遊戯室

[出席者] 吹田保育園保護者 29 名、地域住民 19 名

[事務局] こども部長、こども部次長、こども育成室長、保育幼稚園課長、こども育成室参事、こども育成室参事、保育幼稚園課主査、保育幼稚園課主査、吹田保育園長、吹田保育園長代理

[内 容] 1 説明事項

公立保育所民営化の実施時期変更及び今後のスケジュール(案)

2 質疑

主な質疑は以下のとおりです。

保護者 2 年前の説明会の時も民営化の目的が財政難の解消や、経費削減であるとの説明を受けました。現市長は今のところ、「財政難は解消された」と話していると聞くと、民営化の目的が変わってきているのではないですか。

事務局 前市長が 4 年前「財政非常事態宣言」というのを発せられ、市はアウトソーシングを推進するという方針で民営化を始め、その当時、経費の節減や職員の削減ということもお話ししました。その後、市長が代わり、市長に民営化の必要性について担当からレクチャーをし、ご判断いただいています。

保育所の運営経費については、公立保育所 1 園あたりの市の負担が、約 1 億 4,500 万円に対し、民間の保育所への市の支出は(国の補助金を使えるので)、5,000 万円程度となり、(事業者へ)色々な助成を行うことも踏まえ、民営化で 1 園あたり約 8,000 万円、市の負担が軽減されることとなります。

待機児童を解消するための民間の認可保育所の設立や小規模保育事業の整備、さらに留守家庭児童育成室の 6 年生までの年限延長等、吹田市子ども・子育て支援事業計画に基づく子育て施策の充実に多額の費用が必要になっており、その財源を確保する手法の一つとして民営化が必要であるという判断をし、市長は代わりましたが、継続して進めていくということになっています。

保護者 浮いた経費で子育て施策をとるというが、具体的に決まっていますか。

事務局 今年度からの 5 年間の事業計画(吹田市子ども・子育て支援事業計画)の 1 つ、待機児童解消として平成 29 年度までに私立保育所を 5 か所、小規模保育事業を 44 か所整備し年次的に保育所をふやします。また、需要の多い一時預かり保育事業や病児病後児保育等も事業計画に盛り込んでいます。

保護者 公立保育所民営化実施計画の資料は平成 25 年に作られたとの説明がありました。(民営化に理由について)市長が代わり、財政難から待機児童対策が変わったのに、この資料については見直さず、このまま 5 園(民営化)で説明するのですか。

それから、民営化が 1 年早い南保育園では、保護者はほとんど納得していないので、

(市に)もう一度説明会をお願いしたが断られたと聞いています。市長は傾聴と対話を大事にすると言っているのに、南保育園の話を知ると、言葉とは随分違うと思います。来年は吹田保育園の選定委員会をとということになるとと思いますので、進める場合には「傾聴と対話」を大事にさせていただきたいと思います。

事務局 南保育園の民営化の進め方について色々お聞きになっていると思いますが、担当としましては、何かを行う際には保護者会の会長さんに事前に情報提供させていただきできるだけ丁寧な思い、色々な方法を探らせていただいています。今後、吹田保育園の方でも会長さんを窓口事前に情報提供をした上で進めさせていただきたいと考えています。市長の「傾聴と対話」を尊重する立場から、色々なところで保護者の皆さんの御意見を聞かせていただけるよう、南保育園ではご意見ポストを設置し、いただいた御質問へは文書(Q&A)でお返りする等様々なことを行っております。吹田保育園におきましても市の考え方を説明し、進めさせていただきたいというスタンスです。

地域住民 今までの吹田市では、市や先生の努力によって全国に誇る保育水準(で運営)できたと思います。全ての面の積み重ねがものすごく大きいので、(民営化で)保育水準は絶対に下がるのが分かり切っています。(資料に)保育水準は下がらないと書かれていますが、吹田の保育のすごさを認識してほしいです。

地域住民 私も吹田の保育水準にもっと自信をもっといただきたいと思います。お話をお聞きしていると金銭の問題が随分大きいように思いますが、未来を担う子どもたちをどうするかという保育の問題に関わっていますので、金銭よりもっと大切なところをもっと見ていただきたいと思います。

事務局 公立保育所に大変高い評価をいただいていることは、大変ありがたい事だと考えていますが、市としましては、公立保育所も私立保育所も国の保育所保育指針に基づき保育を実施しているので、保育所として変わりはないと考えています。

民営化に際しては、事業者の選定は企画提案型で行いますので、公立で取り組んできたことに加え、例えば保育時間の延長や病児保育等今まで取り組んでいなかった内容を提案していただき、柔軟な保育の実践が期待出来ると考えています。また、(民営化後の保育内容について)客観的に判断するため、福祉サービス第三者評価事業の受審やアンケートを実施しますし、それ以外にも市・保護者・事業者による三者懇談会において、保育の実践について意見交換しながら進めていこうとしており、保育の内容としては十分なものが継続されていくと考えております。

保護者 初めて参加しました。5園を選定した基準について説明をしてください。

それと、経験のある先生と若い先生のバランスが大事だと思いますが、民営化することによって、そういうことができるのかが心配です。

事務局 まず、5園の選定の基準ですが、参考資料 15 ページにありますように、吹田市の中に公立保育所が(偏らず)適正に配置されることを重視して(判断します)。吹田市ではまちづくりでは6ブロックに分けて考えることが多く、まず、市域を6ブロックに分けて考えると、このJR以南には、吹田保育園、東保育園、吹一保育園、吹六保育園の4

園の公立保育所があります。さらに4つから1つを選ぶ際、民営化後より安定的・継続的な園運営が期待出来る園を選定するため、16ページの選定基準2に示す、①地域の人口が多い②就学前の児童数が多い③地域の就学前の児童数の増加が大きいまたは減少が少ない④当該園の充足率が高い⑤今後こどもが増える要因の開発見込み戸数が多い、等を選定の基準とし、吹田保育園を民営化園として選定しました。

次に保育士のバランスの問題ですが、公立保育園にはベテランの保育士がたくさんおりますが、経験年数の長い方と短い方がバランスよく配置されていることが大切なことと考えています。保育士の経験年数についてはバランスよく配置していることを重視するような選定になると考えています。

保護者 民営化になった当初、先生をバランスよく配置してもらっても、民間園では給料も違い先生がなかなか続かないので、若い先生が多いと聞いたことがあります。先を見て行う民営化するのに、先まで考えていますか。(園の保育士の)年齢バランスが崩れてしまうんじゃないかと思いますが、どうですか。

事務局 その点は国も手をつけはじめています。今年度から新制度がはじまり、単発の補助金ではなく、職員の処遇を上げるための費用を運営費の中に組み込むよう改善されてきたので、(民間園では)給与のベースアップが出来るようになってきています。また、保育士の業務が大変ですので、保育所を補助するような(事務をする)方の園への配置に国の補助金がつくようになりました。あと、非常にマンパワーが必要な障がい児の保育について、市の単独の補助金を設けていますが、その額も上げさせていただいている等、保育士の定着を図るため、全体の処遇が上がるよう進めているところです。

保護者 説明や参考資料には、吹田市が年間どのぐらいの収支があり、5園の民営化によって浮く4億円をどういった待機児童の対策に使うのかについて具体的な数字が全く出てこないもので、これでは納得出来ません。

事務局 具体的な使い途ですが、市全体の子育て関係予算は、私立保育所の整備や小規模保育事業への補助等で、毎年約7億円程度増え続けています。今後、他の様々な子ども施策にも反映させて行きたいと考えております。民営化実施後に改めてこういった削減効果があって、これはこういうことに使うことができましたという事をきちっと検証していく予定です。

地域住民 聞いているとそろばん勘定ばかりですね。それはまず、国に言ってもらいたいです。子どもたちは国の財産です。保育内容という言葉で済ますのではなくて、市の人が見に行ってその内容が今までどおり誇らしい大人になるかどうか見極める覚悟があるのか知りたいです。

事務局 現在、吹田には公立保育所18園に対し私立は28園あり、私立に通っている子どもさんの方が多く、どのお子さん達も健全に育っていると認識しています。特に、吹田の私立保育所、認定こども園は、全て社会福祉法人が運営されていて、社会福祉事業としての理念を持って保育に取り組んでおられます。

民営化の際、(在園の)途中で担い手が変わることについては、保護者の方と子ども

さんに負担のないよう十分な説明、或いは時間をとということで今回、民営化の年次を1年ずらさせていただきました。

また、民営化の前には、「合同保育」として事業者の方にこの吹田保育園に入っただけ、民営化に関わる様々な課題を解消する「三者懇談会」を開催するとともに、民営化後も「引継ぎ保育」として市の職員が保育の実施や、色々な相談事に関わる等心配のないよう引き継いでいきたいと考えています。

保護者 まず、「傾聴」ということで、アンケート及び受付窓口ということを言われていたが、それらはどのように反映されるのでしょうか。

二点目、民営化で恐らく保育水準は下がるものだと思います。もし、お金がからなくなって保育水準が下がらないということがあれば、それは現状の何かがおかしいということだと思いますので、下がると仮定して、保育園に預ける世帯の状況はどのように変わるとお考えですか。

三点目、資料をざっと拝見したところ、枠組みについてはそれなりに整合性が取れていると思いますが、これを行うことによって吹田市が子どもたちをどのように育てていきたいのかという思いが見えて来ないので御説明ください。

事務局 (一点目)保護者の皆様からいただいた御意見、あるいは御質問については説明会等で御説明したり、民営化の事業者選定の際の募集要領等色々なところに取り入れられるものは取り入れたいと考えています。「傾聴と対話」ということですが、直接こうやって顔を合わせてお話するのが一番だと考えていますので、折りを見て説明会をさせていただきたいと考えています。

(二点目)「保育水準が下がる」という懸念につきましては、私立保育所は吹田の中で適切に運営されており、そういったところに事業を引き継いでいただければ、吹田保育園の保育内容も理解していただき、現在運営されている園の良いところも取り入れられますので、保育水準が下がるということはないと考えています。

三点目の「子どもたちをどのようにしたいのか」については、民営化によって生まれた費用は、現在保育所に入られていない方や、入ろうと思っているけどまだ申込できていない、これから仕事を探そうというような潜在的な保育需要に対応できるよう、様々な保育の裾野を広げるために利用するべきと考えています。

保護者 留守家庭児童育成室の年限延長は、要望があって事業計画ができたのですか。

事務局 (留守家庭児童育成室の年限延長を記した)吹田市子ども・子育て支援事業計画は、平成26年度に6,000世帯を対象にアンケートを行い、今後の保育ニーズや子どもたちへの施策の希望を踏まえ策定したものです。

保護者 「お金が足りていないから保育園民営化、ということではなくなった」という理解でよいのか、もう一度はっきりお聞きします。

それから、「専任の看護師を常勤で配置するよう努めること」というのは「努める」だけでいいのか、配置しなければいけないという「条件」なのかすごく気になります。特別な事情のある子どもも含めて吹田保育園でしっかりみていただけるという環境を「そ

のまま保持するよう努めるだけ」か、そういった「条件がある」のかもお聞きしたい。

事務局 市の一般会計の予算は、当初予算で約 1,220 億円です。その中で保育所運営を含めお子さんにかかる予算を「児童福祉費」といいますが、その額は今年度、約 219 億円です。また、219 億円のうちの約 100 億円は「一般財源」という市の負担、簡単に言いますと皆さんの税金で賄っています。お子さんのための予算のうち、税金を充てる額は、平成 25 年から 26 年にかけて約 7 億円伸び、平成 27 年度にかけましてもさらに約 6 億 9,000 万円伸びています。少子高齢化を迎え、今後、税収が伸びることは考えにくい状況の中、民営化により未来の子ども達の保育に対する財源を準備しておかないといけないというのが実態です。

看護師配置につきましては、南保育園で 6 月に開催しました市長との懇談の場で、「看護師については常勤で配置をすることを求めます。」と市長が断言されており、看護師配置については必須となるよう募集要領(案)を作成します。

保護者 この間、園の先生の話が市役所にちゃんと届いていないという感じを受けたので、引継ぎしますと言われても、現場の先生がトラブルを報告しても適当に流されるのではないかと思ってしまいます。現場の先生の話聞いて、それがちゃんと通る体制をつくってほしいです。

事務局 民営化については、公立から民間になったからといって、公はまったく何も関わっていかないということではなく、三者懇談会で市、事業者、保護者の方が一緒にテーブルを囲み色々なことにしっかりと対応していきたいと考えています。

地域住民 地域に住んでいます。(吹田保育園は)将来の子どもたちの保護者や地域にとっても財産ですからこういう説明する立場を続けて欲しいと要望します。

質問ですが、資料に 1 園あたり年間平均 8,000 万円、5 園で 4 億円減るとありますが、これは市の財政負担が減る、すなわち多くは(市職員の)人件費として支出してきたものが、民間保育園に対しての委託費のうちの市の負担分になったものとの差が、この 8,000 万円という理解でいいですか。そうすると、一方では民営化によって基準財政需要額が減る訳ですがそれによって地方交付税が減る分は算入されていますか。公立でも私立でもそんなに運営費は変わらないと思います。

資料には「公立保育所の運営や建設をする場合、国や府から支援は得られません」とありますが、10 年前に公立保育所建設への財政支援制度ができていますし、今年の 4 月から公立施設の再整備に補助制度を作ると新聞で読みましたが、それは読み間違いですかね。それと、新制度になって財政の仕組みも変わっているのに 4,5 年前の数字をそのまま使っていることも含め、資料の表現を正しいとする理由を教えてください。

二点目、参考資料 15 ページに「公立保育所の適正な配置を重視」と書かれています。地域に住んでいると全市的なことは分かりにくいのですが、ないところは公立保育所を増やし、多いところは公立保育所を減らすということで、吹田保育園の地域は多いので減らしますが、少ないところは増やしますという計画であれば、是非教えてください。

三点目、1 か所目が南保育園で民営化するなら、それを検証して問題がないことを明らかにして次の計画をやるというのが普通だと思います。この計画のどの時期に検証をされるか聞かせてほしいです。

事務局 最初の要望につきましては、保護者の方から地域の方にも声をかけてほしいということがありましたので、それにお応えいたしました。保護者の方に寄り添ったかたちで説明会を行っていくとうスタンスです。

公立の施設整備の助成につきましては、現在、大阪府や国から公式な通知はありません。今年度から制度が変わり運営費も組み換えされましたが、年度が終わらないと金額が確定しませんので前の制度の数字を使っています。また、吹田市は長年地方交付税をもらっていませんでしたが、ここ数年はいただいています。収入より需要(基準財政需要額)の方が大きい場合、地方交付税が交付されます。御質問の件につきましては、次回説明会に分かりやすい資料を持ってくるか、Q&A に加えさせていただくかで対応いたします。

二つ目の御質問ですが、参考資料 15 ページの適正配置については、5園の民営化を大前提に、5園を選定し、残る公立保育所が市内にバランスよく配置されているかを重視することを示したものです。

南保育園の民営化が成功したという検証をしてから次の計画に進んでいくべきというお考えの趣旨はよくわかりますが、民営化実施計画は公立保育所 5 園を民営化していく計画としており、南保育園の進み方について次の民営化に活かしていくことはたくさんあると思いますが、検証については、民営化後の第三者評価あるいは保護者アンケートを実施し、さらに民営化で生み出された費用面の効果について、お示ししたいと考えています。

保護者 南保育園等で出た質問はどこに載っていますか。他の園の意見を全部知ることができたら分かりやすいし、御意見箱に書いて出しても答えが返ってこないと意味がないじゃないですか。次の時には資料に入れてほしいです。

事務局 この資料は、新しくいただいたものも網羅しています。また、これから出る御質問等も同じように Q&A にしてお届けします。資料は、できるだけ説明会前にお渡しして、皆さんに御覧いただいてから説明会ができるように心がけます。

公立保育所だけでなく、私立の幼稚園、保育園、こども園全ての子どもたちが幸せになれるようなまちづくりをしていくために、公立 18 園のうち 5 園だけを民営化させていただく計画の御説明をいたしました。なかなか納得できないという事もよく分かります。市の考えていることを分かっていたくよう説明に来させていただきますので、お忙しいとは思いますが、よろしく願います。